



公立中学校における部活動の地域移行

熊本県教育委員会では、令和5年度から中学校部活動の地域移行を進めています(熊本市を除く)。

1月30日に県教育委員会主催でシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、重点地域としての取組を南関町と大津町に発表していただきました。今回は、その内容をお知らせします。

※重点地域とは

スポーツ庁は、地域スポーツ環境の整備を先導的に進める地域として、熊本県を含む10県を「重点地域」に指定しました。県内では、南関町と大津町が県と連携しながら、地域移行に伴う課題解決に向けた取組を実施しました。



南関町の取組

ワークショップや地域イベントを組み合わせながら、生徒が主体的に部活動や地域クラブ活動に関わることができる環境づくりを進めました。

ワークショップ

生徒たちが、「自分たちが担うことができる部活動での役割」や「部活動にはない、地域と協力してやってみたい活動」などをテーマに意見を出し合いました。

体験会

「リズムジャンプトレーニング」、「Tボール」などの活動や「ストレッチ」、「アイシング」などのコンディショニング研修を行って、スポーツへの関心を高めました。

イベントの企画・運営

町民参加型イベント「なんかんスポーツDAY」において、生徒自らブースの企画・運営を担当して、地域住民と交流しながら、活動を主体的に創り上げる経験を積みました。



大津町の取組

指導者不足の課題を解決するために、大学と連携して、部活動指導のアシスタントとして大学生を活用する取組、基礎技術やトレーニングをまとめた動画コンテンツの作成を行いました。

大学生の活用

7つの部活動に、のべ48名の大学生がアシスタントとして参加しました。生徒からは、「詳しく教えてもらってよかった」との声が寄せられ、大学生からも「教員を目指しているのでよい経験になった」との感想があり、双方によって有意義な取組となりました。

動画コンテンツの作成

生徒の自主的な活動を促すとともに、専門外の種目を指導する教員の支援となるよう野球、バスケットボール、コーディネーションの動画を作成しました。動画を活用しながら活動する部活動もあり、教員が示した動きを動画で確認しながら練習に取り組んでいます。生徒が効率的に技能を習得することができました。

シンポジウムの内容は、ホームページからご覧いただけます。「運動部活動」に掲載中です。



この記事に関する問い合わせ先

運動部活動: 体育保健課(096-333-2722)

文化部活動: 義務教育課(096-333-2689)

